

科目名	地域福祉の理論と方法Ⅱ					単位	2.0
担当教員	牧村 順一						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	1313

●授業のテーマ

地域福祉とは何か、その実践課題と活動方法

●到達目標

地域福祉についての的確な問題発見・分析能力を高め、地域特性の把握、地市分析の手法等を理解する。

●学習内容(授業概要)

社会福祉の中で、比較的新しい分野である地域福祉の基本的な考え方、意義・役割及び現代的課題について考える。老人・障害・児童等の分野別の社会福祉ではなく、住民のくらしの場（地域社会）を基盤に、分野を越えて実践する地域福祉が必要とされるに至った背景（生活問題の変化）を理解しつつ、実践上の理論的枠組みについて考察する。

さらに、具体的な地域福祉実践活動の目的・方法及び住民の組織活動の現状を理解し、コミュニティ・ソーシャルワークとして展開する方法や原則を学ぶ。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. はじめに（オリエンテーション）
2. ネットワーキングの意味と方法（1）ネットワークとは何か
3. ネットワーキングの意味と方法（2）ネットワークの構築
4. 地域における社会資源の意味と活用（1）社会資源
5. 地域における社会資源の意味と活用（2）社会資源の構築と活用
6. 地域福祉における福祉ニーズの把握方法（1）量的調査とその実際
7. 地域福祉における福祉ニーズの把握方法（2）質的調査とその実際
8. 地域トータルケアシステムの構築方法（1）地域トータルケアシステムとは
9. 地域トータルケアシステムの構築方法（2）地域トータルケアシステムの構築
10. 地域における福祉サービスの評価方法（1）評価方法
11. 地域における福祉サービスの評価方法（2）評価と実践
12. ボランティア・市民活動の推進と福祉教育（1）福祉教育
13. ボランティア・市民活動の推進と福祉教育（2）福祉教育と実践
14. 地域福祉計画策定プロセスと実際
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに自分で事前に調べておく。授業後は、授業内容を確認するとともにテーマに沿って関連する領域についてもさらに調べておく。

●成績評価方法・基準

学期末試験（75%）

課題レポート（25%）

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『地域福祉の理論と方法』、著者名：編集委員会、出版社：みらい

●参考文献／その他

授業時に指示する

●履修上の注意

テキストを事前に読み込んで臨むこと